



NAGASAKI
MONO-GRAPH

06

富士樹脂 株式会社

フジジュシ カブシキガイシャ



プラスチックっておもしろい

パソコンやテレビをはじめとする電子機器、炊飯器やエアコンといった家電、銀行のATMなどの社会インフラから自動車に至るまで。現代の私たちの暮らしは、半導体によって支えられているといっても過言ではない。情報を記憶したり、数値を計算したり、半導体は言うなれば、性能をコントロールする小さな頭脳だ。高い精度と厳しい品質管理が求められるこの世界で、50年以上にわたって制動装置の部品づくりに愚直に向き合ってきた。その意地と誇りを支えているのが技術力の高さ。

特にプラスチックの溶接による組み立て加工や曲げ加工に定評があり、なかでも樹脂の溶接加工スキルは長崎県内で唯一という自負がある。熱に弱く、金属にくらべて強度が足りない。そんなプラスチックの弱点も今は昔。多素材との複合化といった技術の進化によって、その可能性は無限に広がっている。だからこそ、ロボットや建築など今までとは異なる分野にもチャレンジしたい。情熱と好奇心をもって。



『燃料改善と環境保護』の為に
開発された装置の製造を完成して
市場に提供したい

補助事業のきっかけ

地球の環境保護に配慮した 新たな装置開発の手助けに

地球環境やエネルギー問題は自動車にも大きな影響が。2030年に向けて石油依存度を80%まで下げ、エネルギー効率を30%改善するなどの目標が掲げられ、今後さらにクリーンディーゼルの普及が進むと予測される。それを見据え、「自動車の燃費向上と公害減少」を目的に産官学連携で装置を開発中。しかし、プラスチック部品の加工が難航していた。

補助事業の内容

これまで培ってきた技術力と 新たなマシンで高品質の製品を

実証試験においても期待を上回る成果を出しているものの、その製作の中で重要な部分を占めるプラスチック部品の加工がネックとなっていた。国内や海外の企業で各種試作をしているが、品質面や安定性において期待に沿う製品ができていないのが現状。そこで加工精度を高め、高品質の製品を提供できるようにすべくNCルーターマシンを導入することに。

補助事業の成果

納期、品質、コスト問題を解決 今後の量産化に大いに期待

従来は月に100個しか作れていなかったが、精度が上がったことによって月に200個と生産能力がぐんとアップ。動作環境にも問題がないことが試運転で証明され、量産化に向けた今後の活用がますます期待される。この製品は国内はもとより、海外へも輸出される見込みがあるため、さらなる改善と改良を重ねながら需要増大の期待に応えていきたい。



Information	会社名	富士樹脂 株式会社
	住所 連絡先	佐世保市小佐々町黒石339-73 ☎0956-56-6788 FAX.0956-56-6789 http://www.fujijushi.com ✉fujji1@jeans.ocn.ne.jp
□代表取締役 内田 克也 □設立 1965年4月1日 □資本金 1,000万円 □業種 プラスチック製品製造業 □従業員 22名		